

アージロイ 280

【禁忌・禁止】

本品の成分に対して、発疹・皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用をしないこと。

【形状、構造及び原理等】

- 1) 形状：円柱状
- 2) 成分・配合比

元素	配合比
コバルト	60.5%
クロム	28%
タングステン	9%
ケイ素	1.5%
マンガン	<1%
ニオブ	<1%

- 3) 物理的性質 (JIS T 6121 タイプ 4)

項目	値
耐力	398 MPa
伸び	15.4 %
密度	9.10 g/cm ³
液相点	1425℃
固相点	1400℃
熱膨張係数	14.8×10 ⁻⁶ K ⁻¹ (25-500℃)
はく離・クラック発生強さ	25MPa 以上

【使用目的又は効果】

本品は歯科メタルセラミック修復物、補綴物又は装置の作製に用いる。

【使用方法等】

- 1) ワックス形成
ワックスパターンは、通法に従って行い、ワックスの最低厚み約 0.35mm 以上を確保し作製して下さい。
- 2) スプルーイング
2～4mm φ位のスプルー線を鋳造体の形状や大きさに応じて使用して行って下さい。
- 3) 埋没
埋没前にワックス表面処理材などを使用した場合は、十分に自然乾燥させてから、リング内側に湿セラミック系リボン (1 枚) を内張りにしリン酸塩系埋没材を用いて埋没して下さい。
- 4) 溶解と鋳造
870～900℃にて約 30 分間係留後、鋳造をして下さい。(リングの大きさや数に応じて温度と時間を調整して下さい)
※高周波および真空加圧による鋳造機又は遠心鋳造機で鋳造を行います。
※フラックス等は使用しないで下さい。
※ルツボは鋳造機専用 (メーカー指定) のものを使用して下さい。
※鋳造後は室温まで放冷しリングから取り出して下さい。
- 5) メタル調整・洗浄
サンドブラスト処理により埋没材を十分に除去し、セラミックポイントで表面を仕上げ、アルミナサンド処理 (2～2.5 気圧、約 50 μm) を行い蒸留水やエタノールなどで 5～10 分間の超音波洗浄を行って下さい。
- 6) 陶材の築盛及び焼成
熱膨張係数を考慮し適切な陶材を使用して下さい (ピタオメガ

900、ピタ VM13、セラムコ 3 等)。築盛及び焼成方法は、使用する陶材メーカーの指示に従い行って下さい。

- 7) ろう付け
ろう付けは、歯科用 Co-Cr 合金専用ろう (今回申請対象外) を通法に従い行ってください。
- 8) テクニカルポイント
(焼成温度と係留時間)
ロングスパン症例やインプラント症例における陶材焼成については、焼成温度を 20～30℃高く、係留時間を 3～4 分長くすることにより未焼成によるトラブルを防ぐことができます。

(陶材除去後の処理)

フッ酸処理による陶材除去後は、再度メタル調整、アルミナサンド処理を行い通法に従って陶材築盛、焼成を行って下さい。フッ酸残留によるトラブルを防ぐことができます。

＜使用方法に関連する使用上の注意＞

- 1) 本品の作業設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、鋳造により発生する粉塵及び蒸気等を吸入しないこと。
- 2) 研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸引しないこと。
- 3) 本品以外の合金と混ぜて使用しないこと。
- 4) 溶解やろう付けは、火災から目を保護するための保護メガネを着用すること。
- 5) 鋳造に使用した本品の再利用は、接着力が低下することがありますので避けて下さい。

【使用上の注意】**＜重要な基本的注意＞**

- 1) 本合金の使用により発疹・皮膚炎等の過敏症状があらわれた患者には、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。

＜不具合・有害事象＞**【有害事象】**

- 1) 掌蹼膿疱症、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹 (遅発性金属アレルギー疾患) を発症することがある。

【保管方法及び有効期間等】**＜保管方法＞**

- 1) 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**＜製造販売業者＞**

 **SmartPractice**
株式会社スマートプラクティスジャパン
TEL 0120-415-418

＜製造業者＞

The Argen Corporation
国名：アメリカ合衆国